

2 附属施設教員

(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

(2) 附属動物病院

(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター

(1) 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

山本 信次
Yamamoto, Shinji



赴任：1997年

現職：教授

学位：博士（林学）（東京農業大学）

専門分野：林政学・林業経済学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 自然資源管理ガバナンスに関する研究
2. 森林管理と市民参加
3. 森林教育・都市住民に対する林業普及
4. 都市と山村の交流による地域振興

担当科目：

1. 総合フィールド科学（1年次，分担）
2. 総合フィールド科学実習（1年次，分担）
3. 地域課題演習（1年時，分担）
4. 森林科学入門（1年次，分担）
5. 森林科学基礎演習（1年時，分担）
6. 海外・日本の林業（2年時，分担）
7. 山村経済・地域おこし論（2年時，分担）
8. 地域マネジメント論（2年時，分担）
9. NPO・環境ガバナンス 論（3年次）
10. 地域資源管理学特論（大学院）
11. 地域創生特論（大学院，分担）
12. グローバル環境科学特論（大学院，分担）
13. 公開森林実習（共同利用他大学）

所属学会等：日本森林学会，林業経済学会，環境社会学会，東北森林科学会，農村計画学会

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 高野 涼，伊藤幸男，山本信次，泉谷眞実（2019） 森林経営にかかわる山村住民の森林利用と意味付け - 宮城県米川生産森林組合 A 参事の事例 - . 日林誌101：214-220 .
2. 山本信次（2019） 原子力災害による被害の不可視性と環境社会学の役割 . 環境社会学研究25：109-123 .

(b) 紀要

1. 村上 唯，山本信次，高田乃倫予（2019） 森林組合による都市部への薪販売の現状と意義 葛巻町森林組合を事例として . 岩大演報50；1-17.
2. 山本信次，望月 萌（2019） 狩猟者の狩猟

行動と自然環境の変遷・盛岡市を事例として . 岩大演報50；89-96 .

由比 進
Yui, Susumu



赴任：2016年

現職：教授

学位：博士（農学）（岩手大学）

専門分野：植物育種学，野菜園芸学，農業気象学，生物教育学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. ハクサイの晩抽性育種
2. 加熱調理用のッキングトマト品種育成と栽培技術の開発・普及活動
3. イネ初冬直播き栽培法の確立
4. トマトを利用した遺伝学教材の開発
5. 在来野菜品種の利活用技術の開発

担当科目：

1. 総合フィールド科学（1年次，分担）
2. 総合フィールド科学実習（1年次，分担）
3. 農場実習（2年次，分担）
4. 農場特別実習（3年次，分担）
5. 雑草防除論（4年次）
6. 植物栽培と環境テクノロジー（1年次，分担）
7. 農学概論（1年次，分担）
8. 農業技術学特論（大学院）

所属学会等：日本育種学会，園芸学会，日本生物教育学会

学会賞等：日本生物教育学会論文賞（2014年），日本育種学会春季大会優秀発表賞（2015年）

その他の主な活動：ッキングトマトファンクラブ，岩手大学三陸復興・地域創生推進機構，日本自然保護協会会員，盛岡市立子ども科学館ボランティア
研究業績

A. 著書・訳書

1. 由比 進（分担執筆）（2019） トマト 100 トンどりの新技術と理論 . 第2章 遺伝と育種，農山漁村文化協会，東京，pp.37-70 .（翻訳）

B. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 及川聡子，西 政佳，由比 進，柏木純一，中島大賢，市川伸次，木村利行，大平陽一，長菅輝義，黒田榮喜，松波麻耶，下野裕之（2019） 鉄のコーティングは水稻の初冬直播き栽培における出

芽率を向上させる．日本作物学会紀事，88(4)：259 - 267．

C．特許・設計等

- 1．本城正憲，片岡 園，由比 進，塚崎 光，他 11 名(2019) 品種登録出願 イチゴ品種「そよかの」．国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構．

D．国際学会発表

- 1．Oikawa, S., Nishi, M., Yui, S. Matsunami M., Kuroda, E. and Shimono H. (2018) New Technology: Winter Direct seeding System of Rice (*Oryza sativa* L.) for Cool Climates in Japan. 3rd International Symposium on Innovations in Plant and Food Sciences, Fujian Agriculture and Forestry University.

E．国内学会発表

- 1．及川聡子，西 政佳，由比 進，松波麻耶，黒田 榮喜，下野裕之(2019) 水稻の初冬直播き栽培における種子処理が出芽率に及ぼす影響．日本作物学会第 247 回講演会，日本作物学会講演会要旨集第 247 巻．
- 2．及川聡子，木村利行，松波寿典，西 政佳，由比 進，松波麻耶，黒田榮喜，下野裕之(2019) 青森県と岩手県における水稻の初冬直播き栽培の実証試験．日本作物学会第 247 回講演会，日本作物学会講演会要旨集第 247 巻．
- 3．佐々木琴瑞，折笠貴寛，菊池太良，由比 進，加藤一幾，小出章二(2019) 減圧マイクロ波を用いたトマトピューレ製造工程への加熱処理の適用 - 後加熱処理が成分と食味に与える影響 - ．農業食料工学会東北支部会．
- 4．本城正憲，片岡 園，由比 進，塚崎 光，細田 洋一，對馬由記子，東 秀典，伊藤篤史，山田 修，鈴木朋代，佐藤友博，伊藤聡子，藤島弘行，山崎 紀子(2019) 多収で極晩生の一季成り性イチゴ盛岡 36 号．園芸学会令和元年度秋季大会，島根大学，松江キャンパス．
- 5．橋本遥介，西 政佳，由比 進，鈴木健策，相川直子，下野裕之(2019) 水稻の初冬直播きによる最適な耕起法ならびに播種法の開発．第 248 回日本作物学会講演会，とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)．
- 6．及川誠司，西 政佳，由比 進，鈴木健策，相川直子，松波麻耶，下野裕之(2019) 水稻の初冬直播き栽培に適した品種ならびに採種地．第 248 回日本作物学会講演会，とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)．

- 7．及川聡子，西 政佳，由比 進，鈴木健策，相川直子，松波麻耶，下野裕之(2019) 初冬直播き水稻栽培の出芽率を高める種子コーティング法の検討．第 248 回日本作物学会講演会，とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)．
- 8．及川聡子，藤 晋一，西 政佳，由比 進，鈴木健策，松波麻耶，下野裕之(2019) 水稻の初冬直播き栽培における出芽率低下要因の解明 - 種子含水率と土壌病害菌に着目して - ．根研究集会根研究学会，名古屋大学．
- 9．和崎俊文，塚崎 光，西川和裕，北本尚子，由比 進(2019) 「つげな中間母本農 2 号」型 BrFLC 遺伝子がハクサイの低温要求性に及ぼす影響．第 14 回東北育種研究集会，岩手大学．
- 10．由比 進(2019) 36 年経ってもできない品種，22 年経っても普及しない品種．第 14 回東北育種研究集会，招待講演，岩手大学．
- 11．秋田 薫，馬場健一郎，(6 名略)，猿舘みのり，白井賢太郎，由比 進(2019) 市販ミニトマト F₁品種の後代(F₂)を利用した遺伝観察 - 高校での実践例．日本生物教育学会第104回全国大会，北海道教育大学旭川校．

平 田 統 一
Hirata, Tou-Ichi



赴任：1992年

現職：准教授

学位：博士(獣医学)(岐阜大学)

専門分野：動物生産機能制御学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

- 1．雌牛の繁殖障害防除に関する研究
- 2．ウシ卵子の体外受精・培養に関する研究
- 3．ウシ白血病の防除に関する研究
- 4．子牛の哺育・育成に関する研究

担当科目：

- 1．総合フィールド科学(1年次，分担)
- 2．総合フィールド科学実習(1年次，分担)
- 3．農場実習(1年次，分担)
- 4．牧場実習(3年次，分担)
- 5．基礎生物学実験(1年次，分担)
- 6．動物科学総論(1年次，分担)
- 7．動物科学実験(2・3年次，分担)
- 8．繁殖機能制御学実習(5年次，分担)
- 9．地域課題演習H(人社，教育，理工学部2年次，分担)

所属学会等：日本獣医学会，日本畜産学会，日本繁殖生物学会，日本家畜臨床学会，日本卵子学会，東北畜産学会，日本胚移植技術研究会，北海道牛受精卵移植研究会，日本家畜臨床学会

研究業績

A．原著論文

(a) 学術雑誌

1. Yoshino, H., Kizaki, K., Iga, K., Hirata, T-I., Matsuda, H., Yamanouchi, T., Hashiyada, Y., Toji, N., Ishiguro-Oonuma, T., Takahashi, T., Hashizume, K. (2020) Use of a prediction method for early pregnancy status utilizing receiver operating characteristic curve analysis of peripheral blood leukocyte interferon-stimulated genes in Japanese-Black cattle. *Animal Reproduction Science*. 214:106283.

(b) 紀要

1. 平田統一，千田広幸，佐々木 修，佐々木修一，桃田優子，田尻和之，阿部佳代子，鈴木幸太，松崎 駿，及川真道 (2019) ウシの定時受精前のアルギニン製剤給与は受胎率を改善しうる。持続型農業生産技術研究。11：11-12。
2. 平田統一，千田広幸，佐々木 修，佐々木修一，桃田優子，田尻和之，阿部佳代子，鈴木幸太，松崎 駿 (2019) 牛胚移植における体外培養液への各種薬剤添加や供卵子牛，受胎牛へのアルギニン前投与が受胎率に及ぼす影響。持続型農業生産技術研究。11：13-16。
3. 平田統一，千田広幸，佐々木 修，佐々木修一，桃田優子，田尻和之，阿部佳代子，鈴木幸太，松崎 駿，及川真道，彦野弘一，村上賢二 (2019) 乳酸脱水素酵素の分画比や電気泳動像で地方病性牛白血病の発症牛を摘発できる。持続型農業生産技術研究。11：17-20。

B．国際学会発表

1. Kizaki, K., Yoshino, H., Hirata, T-I., Iga, K., Matsuda, H., Yamanouchi, T., Hashiyada, Y., Imai, K., Ishiguro-Oonuma, T., Takahashi, T., Hashizume, K. (2019) Reliability of ISGs Expression in Peripheral Blood Leukocytes for Prediction of Gestational Conditions in Embryo Transferred Cows. *The Society for the study of reproduction 2018 52nd Annual Meeting*.

C．国内学会発表

1. 平田統一，及川真道 (2019) 体外成熟・発生培養液に添加したアンモニアおよび尿素が牛卵子の体外発生成績に及ぼす影響。第 69 回東北畜産学会講演要旨：34。

2. 片平睦子，岩崎節子，中村啓哉，平田統一，松原和衛 (2019) ウシ超早期妊娠因子モノクローナル抗体の作出。第 112 回日本繁殖生物学会講演要旨：j133。
3. 門岡 憲，鈴木幸太，岩崎節子，片平睦子，中村啓哉，平田統一，松原和衛 (2019) ウシ超早期妊娠因子 IgG のウシ IVF 胚に対する反応。第 112 回日本繁殖生物学会講演要旨：j131。
4. 岩崎節子，片平睦子，中村啓也，平田統一，松原和衛 (2019) 早期妊娠診断のためのウシ超早期妊娠因子モノクローナル抗体を用いた ELISA の開発。第 112 回日本繁殖生物学会講演要旨：j132。
5. 平田統一，阿部佳代子，松崎 駿，及川真道，千田広幸，佐々木 修，佐々木修一，桃田優子，田尻和之，杉本祐介 (2019) アルギニン製剤の経口給与が牛の定時受精後の受胎率やアミノ酸代謝に及ぼす影響。第 126 回日本畜産学会講演要旨：103。
6. 金子紘野，一條俊浩，平田統一，田中瞬一，堀中あさひ，石塚直樹，千葉恵樹，小林怜子，Kim Yohan，佐藤 繁 (2019) 黒毛和種育成牛で難治性を示した成長板骨折の 1 例。令和元年度日本家畜臨床学会・第 50 回学術集会，産業動物臨床医学雑誌 10：126-127。
7. 門岡 憲，鈴木幸太，岩崎節子，片平睦子，中村啓哉，平田統一，松原和衛 (2019) ウシ超早期妊娠因子 IgG のウシ IVF 胚に対する反応。第 112 回日本繁殖生物学会講演要旨：j131。

渡 邊 学

Watanabe, Manabu



赴任：2003年

現職：助教

学位：博士（農学）（岩手大学）

専門分野：果樹園芸学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. リンゴの果実発育に関する研究
2. リンゴの花芽形成に関する研究
3. ブルーベリーの果実発育に関する研究
4. ブルーベリーの栽培管理に関する研究

担当科目：

1. 総合フィールド科学（1年次，分担）
2. 総合フィールド科学実習（1年次，分担）
3. 農場実習 ， （2年次，分担）
4. 農場特別実習（3年次，分担）

5. 栽培理論 (2年次, 分担)

6. 果樹園芸学概論(2年次, 分担)

7. 寒冷地果樹特論(大学院)

所属学会等: 園芸学会, 園芸学会東北支部会, 植物化学調節学会, サゴヤシ学会, 日本ブルーベリー協会, 岩手ブルーベリーの会

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Karimi, F., T. Baba, S. Noma, D. Mizuta, J. G. Kim, M. Watanabe, M. Ishimaru. and T. Ban (2019) Summer Pruning Severity Affected Vegetative and Reproductive Traits in the Rabbit-eye Blueberry (*Vaccinium virgatum* Ait.). *The Hort. J.* 88: 315-319.
2. 小森貞男, 齊藤柚花, 渡邊 学, 村上政伸, 森田泉, 佐々木真人, 田中紀充(2019) リンゴにおける果実変形の品種間差. *園学研* 18: 143-155.
3. Hiraki, H. Watanabe, M. Uemura, M. Kawamura, Y. (2019) Season specificity in the cold-induced calcium signal and the volatile chemicals in the atmosphere. *Physiologia Plantarum*. doi:10.1111/ppl.13019

B. 国内学会発表

1. 小森貞男, 佐藤 優, 佐藤善政, 渡邊 学(2019) リンゴ薬培養における胚様体形成率の年次変動に関する研究. *園芸要旨*. 令元東北支部: 14-15.
2. 伊藤幹人, 松田隆希, 岡田初彦, 渡邊 学, 小森貞男(2019) リンゴ栽培品種交雑実生の開花に関する研究. *園芸要旨*. 令元東北支部: 52-53.
3. 岡部由梨子, 村上政伸, 小森貞男, 窪田 聡, 渡邊 学(2019) リンゴの変形果におけるアブシジン酸およびサイトカイニン量. *園芸要旨*. 令元東北支部: 54-55.
4. 佐藤晴香, 松田隆希, 西谷千佳子, 渡邊 学, 小森貞男(2019) リンゴにおけるカルスからのシュート再分化系の作出. *園芸要旨*: 令元東北支部: 56-57.
5. 岡田初彦, 小森貞男, 渡邊 学(2019) *Malus hupehensis* (無配偶生殖実生)の生育促進に関する研究. *園学研* 18 別2: 99.
6. 渡邊 学, 熊谷初美, 村上政伸, 小森貞男, 村野宏達, 窪田 聡(2019) ハイブッシュブルーベリーにおいて夏秋季開花する新梢中のCN率, アブシジン酸およびサイトカイニン濃度. *園学研* 18 別2: 350.

7. 大谷昭博, 澤村大祐, 佐々木真人, 高橋 藍, 渡邊 学, 小森貞男(2020) リンゴ品種‘黄香’の裂果に関する研究. *園学研* 19 別1: 238.

8. 劉 嘉儀, 岡田初彦, 小森貞男, 村上政伸, 渡邊 学(2020) *Malus hupehensis* (無配偶生殖実生)の水耕栽培を利用した早期開花. *園学研* 19 別1: 243.

9. 伊藤幹人, 間瀬誠子, 岡田初彦, 西谷千佳子, 國久美由紀, 佐藤善政, 渡邊 学, 小森貞男(2020) リンゴ倍加半数体‘95P6’等の薬培養に関する研究. *園学研* 19 別1: 245.

(2) 附属動物病院

佐藤 れえ子

Sato, Reeko



赴任：1981年

現職：教授

学位：獣医学博士（北里大学）

専門分野：獣医内科学，獣医免疫学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 動物の腎臓病におけるバイオマーカーの研究
2. 猫の多発性嚢胞腎の病態解明と責任遺伝子変異に関する研究
3. 猫の多発性嚢胞腎の新規治療法に関する研究
4. ラクトフェリン投与が動物の免疫能に及ぼす影響

担当科目：

1. 内科学総論（3年次）
2. 獣医臨床病理学（3年次）
3. 腎泌尿器病学（5年次）
4. 獣医倫理学（1年次）
5. 小動物内科学実習（4・5年次）
6. 総合参加型臨床実習（5年次）
7. 臨床獣医学演習（5年次）
8. 臨床獣医学卒業研究（6年次）
9. 獣医学特別実験（大学院博士課程）
10. 獣医病態生理学（大学院博士課程）

所属学会等：日本獣医学会（評議員），日本小動物獣医学会（学会長），日本獣医循環器学会，動物臨床医学会（評議員），獣医生化学会，日本獣医臨床病理学会，日本獣医皮膚科学会，日本獣医師会，日本獣医腎泌尿器学会（会長），人と動物の共通感染症研究会，獣医放射線学教育研究会，日本小動物獣医学会東北地区学会長，日本腎臓学会，メープル小動物臨床検討会（理事）

学会賞等：日本小動物獣医学会（東北）地区学会長賞（2006年，2009年，2015年），平成20年度日本小動物獣医学会（東北）・東北獣医師会連合会長賞（2008年），日本小動物獣医学会（東北）奨励賞（2015年），日本小動物獣医学会（東北）地区学会長賞（2016年），日本小動物獣医学会（東北）奨励賞（2016年）

他大学講師・客員研究員等：岐阜大学大学院獣医学研究科教授併任，北里大学獣医学部非常勤講師

その他の主な活動：文部科学省高等教育局〔獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議／教育内容に関する小委員会〕委員，岩手小動物臨床研究

会（世話人），人と動物のこころ研究会会員，日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員，日本学術会議連携会員，大学基準協会獣医学教育評価検討委員会委員，日本獣医師会学術・教育・研究委員会委員，日本獣医師会獣医学術功績者選考委員会委員，日本獣医師会獣医学術学会年次大会企画運営委員会委員，日本獣医師会越智勇一記念学術振興基金運営委員会委員，岩手県動物愛護推進協議会

研究業績

A. 著書・訳書

1. 佐藤れえ子（分担執筆）（2019）猫の多発性嚢胞腎。「伴侶動物治療指針Vo.10」（石田卓夫総監修），緑書房，東京，pp.172-182.

B. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 小林沙織，佐々木 淳，御領政信，内田直宏，井口愛子，山崎真大，佐藤れえ子（2019）肝嚢胞が認められた遺伝性多発性嚢胞腎の猫に対する臨床病理学的検討．日獣会誌 72(4)：215-221.
2. Iguchi, A., Ooshida, J., Mitsui, I., Uchida, N., Kobayashi, S., Yamasaki, M., Sato, R (2019) Suspected eccrine adenocarcinoma on footpad of the right hindlimb in a dog. J Vet Med Sci. 81 (6)：821-823.
3. Sato, R., Uchida, N., Kawana, H., Tozuka, M., Kobayashi, S., Hanyu, N., Konno, Y., Iguchi, A., Yamasaki, Y., Kuramochi, K., Yamasaki, M. (2019) Epidemiological Evaluation of Cats with the PKD1 Gene Mutation. J Vet Med Sci. 81 (7)：1006-1011.

C. 国内学会発表

1. 小林沙織，山崎弥生，内田直宏，佐藤れえ子（2019）ネコ常染色体優性多発性嚢胞腎におけるPKD1 およびPKD2 遺伝子多型解析．第62回日本腎臓学会学術集会（名古屋）日本腎臓学会誌 61：351.
2. 佐藤れえ子，小林沙織，内田直宏（2019）シンポジウム「ヒトと動物の共通する難治性腎疾患 - CKD としての多発性嚢胞腎」ネコ多発性嚢胞腎症例の管理と治療法．第12回日本獣医腎泌尿器学会学術集会講演要旨集：7-9.
3. 日比孝嘉，浅野弘愛，佐々木奈那，内田直宏，小林沙織，戸塚美奈子，森田智也，山崎真大，佐藤れえ子（2019）ネコの慢性腎臓病における尿細

管機能の変動 - 第3報 - . 第12回日本獣医腎泌尿器学会学術集会講演要旨集:14-15.

4. 浅野弘愛, 小林沙織, 日比孝嘉, 佐々木奈那, 戸塚美奈子, 内田直宏, 森田智也, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2019) 長期・大量投与のデキサメサゾンによる犬の薬剤性腎障害の診断に有効であった尿中バイオマーカーの推移. 第12回日本獣医腎泌尿器学会学術集会講演要旨集: 39-40.
5. 松田菜美, 佐藤 良, 内田直宏, 佐藤れえ子, 小林沙織, 山崎真大 (2019) 次世代シーケンサーを用いたジミナゼン感受性および耐性 *Babesia gibsoni* 株の解析. 第162回日本獣医学会学術集会講演要旨集: 468.
6. 佐藤 良, 内田直宏, 小林沙織, 佐藤れえ子, 久保田英治, 山崎真大 (2019) 皮膚リンパ球症が疑われるネコの一例. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 63.
7. 浅野弘愛, 小林沙織, 日比孝嘉, 戸塚美奈子, 内田直宏, 森田智也, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2019) 犬の化学療法における腎障害を早期に検出する尿中バイオマーカーの検討. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 70.
8. 若山映令彩, 佐々木 淳, 小林沙織, 佐藤れえ子, 落合謙爾 (2019) 成猫の猫ヘルペスウイルス性肺炎の病理学的特徴. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 76.
9. 松田菜美, 星野有希, 内田直宏, 木村真優, 小林沙織, 佐藤れえ子, 山崎真大 (2019) 高カルシウム血症を呈した甲状腺癌の犬の一例. 令和元年度獣医学術東北地区学会日本小動物獣医学会(東北地区)抄録: 81.
10. 佐藤れえ子, 小林沙織, 内田直宏, 川名悠加, 山田修造, 小山峻弘, 羽生奈々, 日比孝嘉, 浅野弘愛, 佐々木奈那, 森田智也, 山崎真大 (2019) 猫多発性嚢胞腎の治療薬としてのトルバプタンの臨床応用. 第40回動物臨床医学会記念年次大会プロシーディング No.3: 37-39. (第40回動物臨床医学会記念年次大会学会賞受賞)
11. 佐藤れえ子 (2020) 猫多発性嚢胞腎の広がりとは新規治療法. 第16回日本獣医内科学アカデミー学術大会要旨集.

星野有希

Hoshino, Yuki



赴任: 2017年

現職: 准教授

学位: 博士(獣医学)(北海道大学)

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 伴侶動物の腫瘍性疾患の新規治療法の開発

担当科目:

1. 小動物外科実習(4・5年次, 分担)

2. 臨床腫瘍学(5年次, 分担)

3. 外科総論(4年次, 分担)

4. 軟部外科学(4年次, 分担)

5. 参加型臨床実習(5年次)

6. 臨床獣医学演習 (5年次)

7. 消化器病学(4年次, 分担)

8. 画像診断学実習(5年次, 分担)

所属学会等: 日本獣医学会, 日本獣医師会, 日本獣医

麻酔外科学会, 日本獣医がん学会, 獣医腎尿器学会

学会賞等: 日本獣医内科学アカデミー研究アワード受

賞(2016年), 日本小動物獣医学会北海道地区学会賞

受賞(2017年), 日本小動物獣医学会東北地区学会長

賞受賞(2018年), 日本獣医腎泌尿器学会症例報告優

秀賞(2019年)

森田智也

Morita, Tomoya



赴任: 2020年

現職: 助教

学位: 博士(獣医学)

(北海道大学)

専門分野: 獣医内科学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動:

1. 犬における心エコー図検査を用いた右心室機能評価法の確立

2. 犬における心臓と腎臓の関連(心腎連関)に関する研究

担当科目:

1. 小動物内科学実習(4年次, 分担)

2. 参加型臨床実習(5年次)

3. 獣医臨床病理学(3年次, 分担)

4. 画像診断学実習(5年次, 分担)

所属学会等: 日本循環器学会, 動物循環器病学会, 獣

医腎泌尿器病学会, 日本獣医学会

学会賞等: 平成26年度日本小動物獣医学会北海道獣

医師会長賞 (2014年), 平成27年度日本小動物獣医学会北海道地区学会賞 (2015年), 第14回獣医内科学アカデミー臨床研究アワード (2018年), 第110回日本獣医循環器学会最優秀学会発表賞研究報告の部 (2019年)

研究業績

A. 学位論文

1. 森田智也 (2018) Application of the assessment of right ventricular function by echocardiography in dogs with heart disease (犬心疾患への心エコー図法を用いた右心室機能評価の応用) [獣医学博士 北海道大学]

B. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Morita, T., Nakamura, K., Osuga, T., Yokoyama, N., Morishita, K., Sasaki, N., Ohta, H. and Takiguchi, M. (2019) Effect of acute volume overload on echocardiographic indices of right ventricular function and dyssynchrony assessed by use of speckle tracking echocardiography in healthy dogs. *Am. J. Vet. Res.* 80: 51-60.
2. Morita, T., Nakamura, K., Osuga, T., Morishita, K., Sasaki, N., Ohta, H. and Takiguchi, M. (2019) Right ventricular function and dyssynchrony measured by echocardiography in dogs with precapillary pulmonary hypertension. *J. Vet. Cardiol.* 23:1-14.
3. Dermlim, A., Nakamura, K., Morita, T., Osuga, T., Nisa, K., Sasaoka, K., Leela-arporn, R., Sasaki, N., Ohta, H. and Takiguchi, M. (2019) The repeatability and left atrial strain analysis obtained via speckle tracking echocardiography in healthy dogs. *J. Vet. Cardiol.* 23:69-80.
4. Nisa, K., Lim, S.Y., Shinohara, M., Osuga, T., Yokoyama, N., Tamura, M., Nagata, N., Sasaoka, K., Dermlim, A., Leela-Arpom, R., Morita, T., Sasaki, N., Morishita, K., Nakamura, K., Ohta, H. and Takiguchi, M. (2019) Evaluation of duodenal perfusion by contrast-enhanced ultrasonography in dogs with chronic inflammatory enteropathy and intestinal lymphoma. *J. Vet. Intern. Med.* 33:559-568.

C. 国内発表

1. 日比孝嘉, 浅野弘愛, 佐々木奈那, 内田直宏, 小林沙織, 戸塚美奈子, 森田智也, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2019) ネコの慢性腎臓病における尿細管機能の変動 - 第3報 - . 第12回日本獣医腎泌尿器学会 .

尿器学会 .

2. 浅野弘愛, 小林沙織, 日比孝嘉, 佐々木奈那, 戸塚美奈子, 内田直宏, 森田智也, 山崎真大, 佐藤れえ子 (2019) 長期・大量投与のデキサメサゾンによる犬の薬剤性腎障害の診断に有効であった尿中バイオマーカーの推移. 第12回日本獣医腎泌尿器学会 .

(3) 附属動物医学食品安全教育研究センター

佐藤 至

Sato, Itaru



赴任：1990年

現職：教授

学位：博士（獣医学）（岐阜大学）

専門分野：公衆衛生学

主な研究テーマ及び主な教育研究活動：

1. 放射線内部被曝の防護
2. 放射性物質の環境動態
3. 環境汚染物質の毒性

担当科目：

1. 情報基礎（1年次）
2. 生活と環境（1年次）
3. 基礎放射線学（2年次）
4. 環境衛生学（3年次）
5. 公衆衛生学実習（3年次）
6. 獣医事法規（4年次）
7. 食品安全管理学（4年次）

所属学会等：日本獣医学会，日本トキシコロジー学会

その他の主な活動：日本獣医師会会員

研究業績

A. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. Sato, I., Sasaki, J., Satoh, H. and Okada, K. (2019) Effects of treatment time and thickness of meat on the removal of radioactive cesium from beef slices by boiling and water extraction. *J. Food Prot.* 82: 623-627.
2. Sato, I., Sasaki, j., Satoh, H., Natsuhori, M., Murata, T. and Okada, K. (2019) Comparison of urine and blood as a convenient and practical sample for estimating the contamination level of live cattle with radioactive cesium. *Anim. Sci. J.* 90: 1090-1095.
3. Sasaki, J., Uehara, M., Sato I., Satoh, H., Deguchi, Y., Chida, H., Natsuhori, M., Murata, T., Ochiai, K., Otani, K., Okada, K. and Ito, N. (2019) Pathological characteristics of thyroid glands from Japanese Black Cattle living in the restricted area of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Anim. Sci. J.* 90: 1333-1339.